

性別による “無意識の思い込み”

意識してみませんか

これまでの経験や見聞きしたことによる無意識の思い込みを

「アンコンシャス・バイアス」といいます。

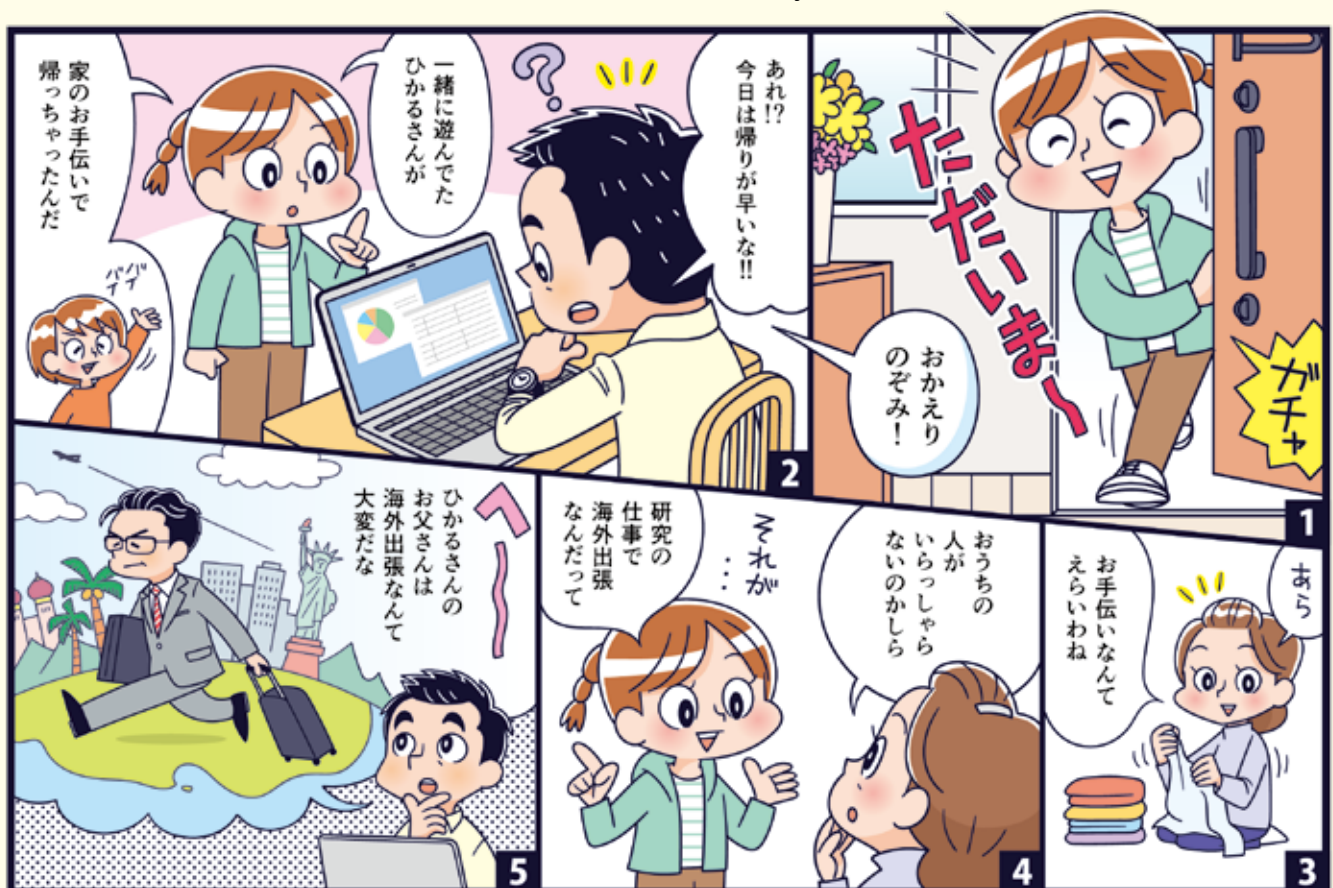
例えば「男性だからこうあるべき」「女性ならばこうだろう」

といった性別による思い込みをした経験はありませんか。

今回は、そんな性別によるアンコンシャス・バイアスについて考えてみましょう。

(人権政策課)

～ある日の出来事～



実は、アンコンシャス・バイアスがこの中に潜んでいます。気付きましたか？

無意識のうちにどんな思い込みをしてしまっていたのかは次のページで確認してみましょう。

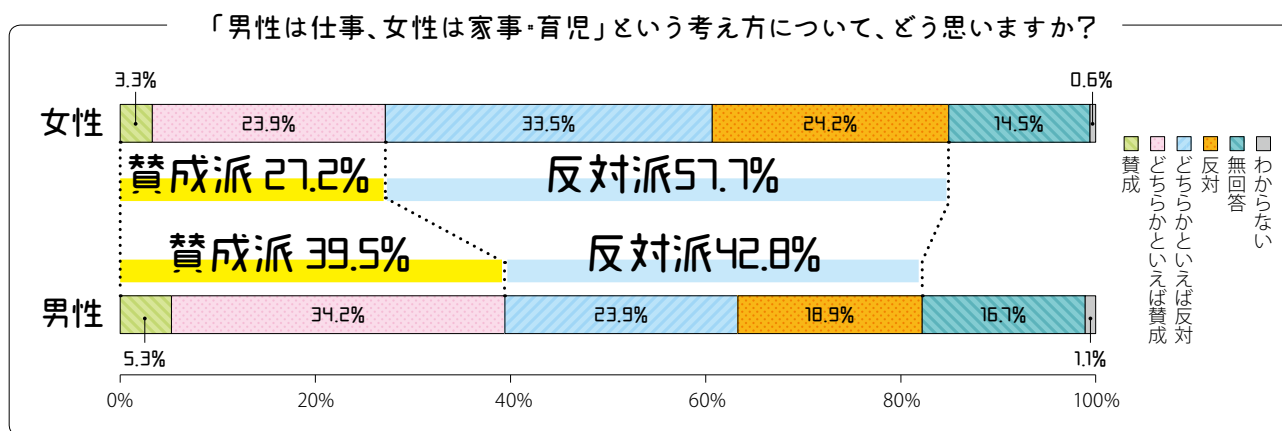


のぞみさんのお父さんは「海外へ出張するような研究者といえば男性に違いない」と思い込んでいました。これがアンコンシャス・バイアスです。

もしお父さんが、「研究者＝男性の仕事」という思い込みに気付けなかったら、のぞみさんの成長や将来の夢に影響を及ぼしていたかもしれません。

皆さんは、日常生活の中で自身の思い込みで接していることはありませんか。

市では、令和2年(2020)10月に性別役割分担の状況や男女共同参画などへの考え方について市在住の18歳以上の男女を対象に調査しました。



上記のグラフのとおり、「反対」と答えた人は「賛成」と答えた人を上回っていますが、女性に比べ男性は賛成派の割合が多い結果になっており、男性の性別役割分担意識が強い傾向が分かります。

アンケート結果の詳細は市ホームページでご覧いただけます。



こんなことも

性別によるアンコンシャス・バイアス

家事、育児は
女性がするものだ

男性は仕事をして
家計を支えるものだ

共働きでも男性は家庭よりも
仕事を優先するものだ

育児期間中の女性は
重要な仕事を担当
すべきでない

受付、接客・応対(お茶出しなど)
は女性の仕事だ

家を継ぐのは男性だ

内閣府男女共同参画局「令和3年度性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に関する調査研究」から

アンコンシャス・バイアスは、それ自体が良い・悪いというものではありません。
では、何が問題となるのでしょうか。

自分自身の思い込みに気付くことが大切です



副市長
足立 佐知子

アンコンシャス・バイアスの問題点は、一方的な決め付けや、価値観・行動の押し付けにつながり、相手を傷つけ行動を制限してしまうことです。時には自分自身の可能性を狭めてしまうこともあります。

大切なのは自分自身の気付きです。相手の表情や態度の変化など「サイン」に注目することで思い込みや誤解に気付き、互いに理解が進むこともあるでしょう。

多様性を認め、一人一人の人権を尊重し合える社会の実現をめざすことは、男女が社会のあらゆる分野に対等に参画し、性別に関わりなくその個性と能力を十分に発揮することのできる「男女共同参画社会」の実現に向けた歩みです。

アンコンシャス・バイアスに対して
大切なことは…

気付き、知り、対応すること
思い込みよりも「その人らしさ」を
認めること



夢をかなえ
研究者になった
のぞみ

問 人権政策課 ☎6858-2654